

令和 7 年度中予地方局予算事業成果表

1 基本事項

- (1) 事業名 関係人口創出モデル事業費
- (2) 事業期間 令和 7 年度～令和 9 年度
- (3) 所 管 地域産業振興部 地域政策課
- (4) 予算額 1,293 千円

2 事業目的

人口減少が進む地域では、担い手不足により地域の活力の維持・創出が困難となっていることから、持続可能な地域の実現に有効な手段として期待される「関係人口」の創出を通じて地域づくりの担い手を確保するためのモデル事業を、県内のリーディングゾーンであり、諸課題の縮図ともいえる中予地域で実施する。

3 主な取組（何をしたか）

(1) 地域の受け皿づくり事業

管内 6 市町及び県職員 17 名で関係人口ワーキングチームを設置し、ワークショップにて地域ぐるみで関係人口を受け入れる意識の醸成、体制構築の重要性を学んだ。

○探検と考察と妄想 関係人口を体感する

開催日：令和 7 年 11 月 26 日（水）午後

開催場所：おもご旅館（久万高原町久万 348）

○地域の常連さんの増やし方

開催日：令和 8 年 2 月 13 日（金）午後

開催場所：伊予市役所



(2) 地域のファンづくり事業

地域のファンとして継続的に関わる関係人口を創出するため、管内で最も人口減少が進む久万高原町にて、集客力のある「モルック」で地域外から人を呼び込み、地域への理解促進と愛着醸成を図った。

「第 1 回モルック久万高原まんてんカップ」

開催日：令和 7 年 9 月 21 日（日）9：30～16：00

参加者：48 チーム（190 名）

※県内 32T・県外 16T（応募 68T）

【主な取組】町産木材を使った参加賞及びトロフィー、町産食材の配付、前日イベントでの交流促進 等



4 成果（何がどう変わったか）

「関係人口」の定義を「地域と継続的に関わる人」と定義し、ペルソナや関係人口となるプロセスを検証、管内の好事例等を共有し、理解を深めた。モルック大会では、募集枠以上の応募があり、モルックを通じて交流を深め、町の魅力に触れてもらえた。参加者対象のアンケートでは、何等かの形で「今後もこの地域に関わっていきたい」と回答した人が 98%であり、関係人口となるきっかけづくりができた。